

第一中学校区における魅力ある学校の
開校準備委員会

第二次報告書

～「(仮称) 交野みらい学園」の校章候補について～

令和3年9月28日

交野市教育委員会事務局 まなび未来課

目次

1. 第二次報告書の趣旨	1
2. 開校準備委員会の活動状況等について	1
(1) 開校準備委員会の委員構成	1
(2) 開校準備委員会の活動状況（第一次報告書提出以降）	1
(3) 校章デザイン案の公募について	2
(4) 開校準備委員会における検討経過	3
3. 「(仮称) 交野みらい学園」の校章候補について	6
(1) 「(仮称) 交野みらい学園」の校章候補について	6
(2) 校章の選定における主な意見	7
4. おわりに	7
別表 1. 校章の公募結果	8
別表 2. 校章デザイン案のアンケート調査結果	13

1. 第二次報告書の趣旨

第一中学校区における魅力ある学校の開校準備委員会（以下「開校準備委員会」という。）では、令和2年12月に実施しました第7回開校準備委員会にて、第一中学校区における統合新校の校名を「交野みらい」と選定して以降、これまで統合新校「(仮称)交野みらい学園」の校章等について、ご検討いただけてきました。

その結果、全8回の会議により「(仮称)交野みらい学園」に最もふさわしい校章候補を選定していただきましたので、第二次報告書として取りまとめました。

2. 開校準備委員会の活動状況等について

(1) 開校準備委員会の委員構成

令和2年度 ≪ 開校準備委員会の委員構成 ≫

交野市PTA協議会	19名	区長会（区長・地区代表）	11名
学校評議員	3名	青少年指導員	2名
民生委員児童委員・主任児童委員	2名	校区福祉委員	2名
学校教職員	6名		

合計45名

令和3年度 ≪ 開校準備委員会の委員構成 ≫

交野市PTA協議会	6名	区長会（区長・地区代表）	5名
学校評議員	3名	青少年指導員	2名
民生委員児童委員・主任児童委員	2名	校区福祉委員	2名
学校教職員	6名		

合計26名

(2) 開校準備委員会の活動状況（第一次報告書提出以降）

第一次報告書提出以降の校章検討に係る開校準備委員会の活動状況は以下のとおりです。

回	開催日	校章選定に係る主な会議内容
第8回	令和3年1月22日	校章の作成方法（公募）・スケジュール
第9回	令和3年2月19日	校章デザイン案公募の募集要項
第10回	令和3年3月19日	校章デザイン案の校正を依頼する専門家の決定 校章デザイン案の選定方法 → 二次選考前に第一中学校区の各校の児童生徒を対象としたアンケート調査を実施することで決定

第 11 回	令和 3 年 4 月 23 日	校章の選定（一次選考） 100 → 12 12 デザイン案のうち、5 デザイン案は一次選考通過。（二次選考対象として確定） 残り 7 デザイン案を、1.5 次選考の対象とした。
第 12 回	令和 3 年 5 月 21 日	校章の選定（1.5 次選考） 7 → 1 二次選考対象 6 案決定
第 13 回	令和 3 年 6 月 18 日	1.5 次選考の結果報告
第 15 回	令和 3 年 8 月 20 日	校章の選定（二次選考）
第 16 回	令和 3 年 9 月 17 日	校章の選定（二次選考） 6 → 1

※校章の公募期間：令和 3 年 3 月 1 日から令和 3 年 4 月 7 日まで

※第 8・9・12・13 回は、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言の対象地域に、第 11 回は、まん延防止等重点措置の実施地域に指定されていたため書面開催

※第 14 回は、開催したものの校章についての検討は実施しなかった。

（３）校章デザイン案の公募について

開校準備委員会では、「(仮称) 交野みらい学園」の校章デザイン案を広く募集するため、第一中学校区の各学校や地域、交野市内すべてのこども園・幼稚園・保育園、子育て支援拠点、公共施設等に合計約 2,500 部の校章募集の開校準備委員会だより（第 5 号）を配布又は配架し、以下のとおり校章デザイン案の募集をしていただきました。

公募の結果、応募条件を満たした校章デザイン案は、「別表 1. 校章デザイン案の公募結果」に記載のとおりです。

募集内容：(仮称) 交野みらい学園の校章デザイン案

※令和 4 年度に開校予定の、(仮称) 交野みらい小学校でも同じ校章を使用します。

募集期間：令和 3 年 3 月 1 日（月）から令和 3 年 4 月 7 日（水）まで

募集対象者：交野に愛着のある方

校章デザイン案の作成要領：

- ① 応募される作品については、未発表かつ自作（他の著作権に触れない）のもので、他の商標等の模倣でないものにしてください。
- ② デザインに使用する色は 3 色以内とし、グラデーション（ぼかし）は使用しないでください。

また、白黒等で使用してもイメージが損なわれないようにしてください。

※最小で 1.5cm 四方のサイズで使うことがあります。

- ③ 「説明」欄には、デザインの説明（理由や意図等）を必ず記入してください。

有効応募総数：１００点

有効応募者数：６２人

（４）開校準備委員会における検討経過

第８回では、「（仮称）交野みらい学園」の校章の選定に向けたスケジュールをご確認いただきました。

第９回では、校章デザイン案の募集要項及び応募用紙について、ご検討いただきました。

第１０回では、応募のあった校章デザイン案について、校正が必要な場合に校正を依頼する専門家を、大阪成蹊大学の藤丸一郎准教授に決定しました。また、校章デザイン案の選定方法として、二次選考前に、第一中学校区の各校の児童生徒を対象としたアンケート調査を実施することを決定しました。

第１１回では、応募のあった１００点の校章デザイン案を６点に絞るため、一次選考を実施しました。なお、応募のあった１００点は、手書きのものやグラフィックソフトデザインを使用して作成されたものなど様々であったため、一次選考は、現時点での完成度だけでなく、校章デザイン案の作成意図やイメージ、独創性、児童生徒や学校関係者、地域住民などへの親しみやすさ、「（仮称）交野みらい学園」のイメージとの合致などを総合的に勘案していただいたうえで、実施していただきました。

一次選考では、「（仮称）交野みらい学園」の校章としてふさわしいと考えるデザイン案を各委員３つ選んでいただき、得票数上位６案を一次選考通過のデザイン案とすることとしました。選考の結果、上位５案は決定しましたが、得票数６位の校章デザイン案が同率の得票数で７案となったため、得票数同率６位の７案の中から二次選考の対象とするデザイン案を選定するため、１.５次選考を実施することとしました。

<一次選考上位５案（二次選考へ）>



【一次選考での得票数】

校章デザイン案の番号	59	4	1	19	54
得票数（票）	7	5	4	4	3

<一次選考同率6位の7案（1.5次選考へ）>

21



52



78



79



90



96



45



【一次選考での得票数】

7案すべて2票

第12回では、1.5次選考を実施しました。なお、45番のデザイン案については、手書きでの応募でしたので、1.5次選考に先立って、専門家にグラフィックソフトによる校正を行っていただきました。1.5次選考は、対象の7案の中から「(仮称) 交野みらい学園」の校章としてふさわしいと考えるデザイン案を各委員ひとつ選んでいただき、最も得票数の多かった校章デザイン案を、二次選考の対象とすることとしました。(二次選考の対象となる校章デザイン案は、一次選考の時点で5案は決定済み。)

<デザイン案の校正結果>

45



校正



<1.5次選考通過の校章デザイン案（二次選考へ）>

45



【1.5次選考での得票数】

校章デザイン案の番号	21	45	52	78	79	90	96
得票数（票）	3	7	3	2	2	1	1

第13回では、1.5次選考の結果を報告し、二次選考の対象となる6つの校章デザイン案をご確認いただきました。あわせて、二次選考に先立って、事務局にて、第一中学校区の各校の児童生徒を対象に、「(仮称) 交野みらい学園」の校章として最もふさわしいと考える校章デザイン案について、意見を聞くためのアンケート調査を実施する旨を報告しました。(アンケート調査の実施は、第10回で決定済み。)

<二次選考対象の校章デザイン案6案(アンケート調査の対象)>



第14回では、アンケート調査の結果に関する資料「別表2. 校章デザイン案のアンケート調査結果」の配布は行ったものの、会議時間の都合上、校章についての検討は行いませんでした。

第15回では、アンケート調査の結果を踏まえて、二次選考を実施しました。その結果、校章候補は学校の輪転機で印刷しても各デザイン案の形状等が維持されるのか確認してから決定するのが望ましいとの方向性が取りまとめられました。

第16回では、第15回でご意見のあった内容について、印刷時もすべての校章デザイン案の形状等が維持されることを確認した上で、「(仮称) 交野みらい学園」の校章として最もふさわしいと考えるデザイン案を各委員ひとつ選んでいただき、最も得票数の多かった校章デザイン案を、「(仮称) 交野みらい学園」の校章候補として選定することとしました。

<「(仮称) 交野みらい学園」の校章候補>

45



【二次選考での得票数】

校章デザイン案の番号	59	4	1	19	54	45
得票数(票)	7	1	1	1	3	10

3. 「(仮称) 交野みらい学園」の校章候補について

(1) 「(仮称) 交野みらい学園」の校章候補について

公募でご応募いただいた100点の校章デザイン案の中から、開校準備委員会において、以下の校章デザイン案を「(仮称) 交野みらい学園」の校章候補として選定しました。

【カラー版】



【白黒版】



【デザインに込められた思い】

デザインの中心には市の木であるさくらの花を配置し、さくらの中には、交野みらい学園の児童生徒が、それぞれの個性を光り輝かせてほしいという願いを込めて、「星のまち」交野市の象徴として星が配置されています。また、さくらの下の植物には、交野みらい学園の児童生徒が植物のように生き生きと、そして伸び伸びと成長してほしいという願いが込められています。

星の中心には、交野小学校の校章にも描かれていた桜花の中心が、さくらを囲う大きな円は長宝寺小学校の校章に描かれている円が、円の両脇には第一中学校の校章の一部が使用されており、3つの学校の校章の一部を使用することで、交野みらい学園として統合される一体感が表されています。

また、さくらの花卉の上部は、交野市の『交』の字の“一画目”、その両端の花卉は“二画目”、下部の2枚の花卉は“三・四画目”、さくらの下の植物は“五・六画目”を表しており、全体で『交』の字になるよう配置されています。

【デザインの作者】

三原 萌果さん（交野市立第一中学校 生徒）

(2) 校章の選定における主な意見

【校章選定についての意見（開校準備委員会）】

- ・ 子供たちの意見（アンケート結果）を尊重すべきだと思う
- ・ （二次選考に残った）すべての校章デザイン案に桜が入っていてよい
- ・ 校歌が新しくなるので、校章は歴史を継いでもよい

【校章候補についての意見（開校準備委員会）】

- ・ 3校のつながり、新校でのびのびと個性の伸長をはかる姿、交野の良さを表している
- ・ まるくやわらかいイメージ
- ・ 文字が入っていないことが、他とは違う特徴で、よしあしがあるか

【校章候補についての意見（児童生徒（「別表2．校章デザイン案のアンケート調査結果」より））】

- ・ 交野小・長宝寺小・第一中の校章が受け継がれている
- ・ デザインにたくさんの理由があり良い
- ・ カラーでもグレースケールでもおしゃれ
- ・ 色が薄くて優しい感じが出ていてきれい
- ・ 説明が長く、デザインへの愛情を感じる
- ・ 桜と草がとてもキレイで交野市に似合いそう
- ・ 文字がなく、シンプルで良い
- ・ 真ん中の桜がかわいい

4. おわりに

開校準備委員会では、これまで全16回の会議を行い、統合新校に最もふさわしい校名及び校章候補を選定していただきました。

また、この間、専門部会の活動として、通学安全部会では、学校統合後の児童生徒の登下校の安全に関することについて、地域協働部会では、学校と地域の協働に関することについて、それぞれ慎重に検討を行っていただいております。

開校準備委員会では、今後も引き続き統合新校の円滑な開校に向けた諸課題についての活発な議論が期待されます。

別表1. 校章デザイン案の公募結果

1		交野市の花木である桜と未来へと歩む道を重ね合わせ図案化しました。その周囲に義務教育学校とともに学ぶ、3校の児童生徒が手をつなぎ合っている様子を図案化しました。 交野みらい学園の児童生徒が共に携え学び合い、希望の未来へと歩み、いつの日かそれぞれの花を咲かせてほしいという思いを込めました。	13		図案の構成は「輪と輪」＝和と和の意図である。 交野の「交」のもつイメージを輪と輪の交わりで立体的に表現した。グラデーションやボカシがなくとも立体的に見えるデザインは、新しい学校に相応しい明るい新鮮さを醸し出すものである。 また、友情の心をハート（♡）形で暗示させた。
2		交野市の花木である桜と未来へと歩む道を重ね合わせ図案化しました。その周囲に義務教育学校とともに学ぶ、3校の児童生徒が手をつなぎ合っている様子を図案化しました。 交野みらい学園の児童生徒が共に携え学び合い、希望の未来へと歩み、いつの日かそれぞれの花を咲かせてほしいという思いを込めました。	14		交野といえば、サクラなので、サクラとハートをかけて、この形にしました。 中央の交は、交野と交流の交の意味を合わせてかきました。
3		交野市の花木である桜の花の中にMIRAIの文字を入れ、背後に未来へと歩む道を重ね合わせ図案化しました。 交野みらい学園の児童生徒が共に携え学び合い、希望の未来へと歩み、いつの日かそれぞれの花を咲かせてほしいという思いを込めました。	15		交野市の「交」をモチーフに3つの学校（3つのライン）がまざり合うことで新しく誕生する「みらい学園」の姿を頭文字「M」を形どって表現しています。 また、カラーには茶色・緑色・水色の3色を使用し、それぞれの交野市の自慢でもある「交野山」「豊かな自然」「美味しい水」を表現しています。
4		交野市の花木である桜の花と、その背後に未来へと歩む道を重ね合わせ図案化しました。その周囲に小中一貫校とともに学ぶ3校の児童生徒が手をつなぎ合っている様子を図案化しました。 児童生徒が共に携え学び合い、希望の未来へと歩み、いつの日かそれぞれの花を咲かせてほしいという思いを込めました。	16		かみひこうきをイメージ かるくとぶのをイメージした
5		①自然豊かな交野をイメージのグリーン ②交野市の花をイメージの桜 ピンク ③木のように真っ直ぐに育って行くように▲	17		・交野らしいさくらとかがやく星のイメージ ・みらいの「み」を星の中に入れて、交野みらい学園とわかるようにしました。
6		・ 自然・山々をみどり ・ 川・友情・未来を無限マークの水色に	18		交野市だから桜をかきました。まんなかの星はおりひめちゃんの星です。 星の中に「み」という字を書いたのは、みらい小学校は「星のようにかがやける学校」というイメージでかきました。
7		・自然豊かな又雑草のように、たくましく前に進む黄緑色。 ・星の町交野を黄色で手を取り合っている。 ・桜の花と友情の輪をピンク色。	19		交野市の木「さくら」、中央を南北に流れる「天野川」、七夕伝説・織姫の里から「星」を配置し図案化しました。 ロマンを活かし、新しい学び舎に集まる生徒たちに夢と希望を感じさせる校章デザインにという思いで創作いたしました。
8		・自然の豊かなイメージ グリーン 友だちの輪 グリーン ・市の花 桜をピンク ・市の川 天野川 滝など水色	20		交野市の頭文字イニシャル「K」をモチーフにデザインしました。 三つの輪はそれぞれ「交野小学校」「長宝寺小学校」「第一中学校」を意味し、重なりは互いに協力し合い、困難に立ち向かいながらのびのびと成長し、未来にはばたく願いを込めたデザインです。 星は「未来の星」を意味したものです。
9		上昇基調の星型と学園名を用いて描きました。 また星型を飛び立つ鳥を見立て「未来に羽ばたく」様、星の芯で支える強さ、そして、「交野」の「交」を彷彿させる組み合わせにしております。 白黒の場合は濃紺と紺を黒色の提案とします。	21		交野市の頭文字「交」をモチーフにしています。 「交野みらい学園」の現代的イメージからデザインしました。 上部にある「星」は、未来への夢や希望の星であり、生徒、教職員、保護者、地域の皆さんが協調し合い力を合わせ、新しい学び舎の歴史を築いて欲しいという願いを込めて配置しました。
10		円形の中に星と学園名を記しました。 円形で「未来」をイメージさせる大空、九つの星で義務教育の9年間の意、右上の開きで躍進する意、また、星で天の川と「交野」の「交」を彷彿させてあります。 白黒表現時は紺色を黒、黄色と白色を白表現の提案とします。	22		交野市の木「さくら」、七夕伝説・織姫の里から「星」をイメージした「9角星」で図案化しました。小・中学校の9学年を頂点の数で表し、義務教育の年数を意味するデザインに爽やかなカラーで彩色し、明るい未来や希望を表現しました。
11		デザインテーマは市民憲章にもある「和」である。 三人の「人」を輪になる位置に配置し、「和」（輪＝和）を表現した。 三人がそれぞれの個性を持つ存在を示す意図で、三人三様の三色とした。矢印が三方に向かってるのは、「未来」へと羽ばたく姿を象徴している。	23		交野みらい学園の「みらい」から「m」をモチーフにデザインしました。 三つの山はそれぞれ「交野小学校」「長宝寺小学校」「第一中学校」を意味し、重なりは互いに協力し合い、困難に立ち向かいながらのびのびと成長し、未来にはばたく願いを込めたデザインです。 星は「未来の星」「希望」を意味しています。
12		校名の頭文字「K」を基本モチーフとし、その中に輪を取り入れ平和な未来を象徴的に表現した。 さらに、背景の円（O）は「和」を表し、右上がりに放射する円は子ども達の未来に向かって伸びていく姿、明日への希望の広がりを表す。 爽やかで若々しい緑系統の色で統一した。	24		・下の四角形が重なっているのは、おりひめちゃんの着物、交野の「未来」へ続く道を意味しています。 ・真ん中の「交」は、第一中学校の校章を抜きとって、「交」の部首“なべふた”の部分は新しく、交野山を意味しているようにしたら良いと思います。 ・「交」の周りの星は、星の町交野なので書きました。

25		未来に進んでいくイメージで書きました。	37		交小の校章の桜、長小の丸、一中の交を組み合わせて色をぬりました。
26		交野小学校をみらいに見立て、長宝寺小学校の三方にのびゆく矢と、第一中学校の中を合わせ未来に射て、この学園の生徒がみらいにのびゆく矢のようになってほしい。	38		「交野みらい学園」の名前のように、いいみらいの学園をつくるには、やっぱりみんなの「協力」が必要だなと感じたので、手で協力を表し、桜は、交野市の木ということで、桜をかき、手をかこんでいる円は、学校生活を円満に過ごしてほしいという願いから、円で全てをかこいました。
27		三校の校章を合わせたものにしたいと思い、長小の円の上に一中の上下左右の先の方の形を、交小の桜から桜の花びらを組み合わせました。 また、中央の星形は「みらい」から連想したもので、四方八方に輝いていることから「希望ある未来は様々にある」という思いを込めています。	39		交野市の「交」に「交野みらい学園のマーク」で考えて、「☆」にした。
28		みらい学園の「未」をもとにしました。 人間はさまざまな可能性を秘めているということから「かたのあしたのがっこう」よりえんぴつをさまざまな方向にのびしました。 そして、中心あたりに希望の象徴として星をつけました。	40		平和を象徴的に示す花びらでデザインしました。 ※「4色使用」「グラデーション使用」のため、採用する場合は、修正が必要。
29		「かたのみらい」の文字をつなげて円にしました。 中の花は、一中、長宝寺小、交野小を3本の線にし、重なり、つながって未来に花が咲くイメージです。	41		小学校と中学校がつながるから、つなげました。 「交野みらい」というがくえんの名前を入れました。
30		・真ん中の「M」は交野みらい学園の「M」です。「交」に変えるアイデアも出ました。 ・線対象にすることでバランス良く、すっきりと仕上げました。 ・交野小学校の「桜」、長宝寺小学校の「円」、「矢（横棒）」、第一中学校の「中」の「口」の部分を入れ、合併校だということを表し、大切な3校の思い出や希望を背負おうということも表しました。 ・「円」の上を開け、子どもたちが学園から上へと飛び立ち、立派な人間になってほしいという思いを込めました。また、「円」は仲の良い人間関係も表し、子どもたちが丸い円のように凹凸のない、円満な学校生活を送ってほしいと思い、描きました。 ・桜は白黒にするときは白です。Mの周りは金色です。	42		桜は、交野小学校の校章をイメージし、「交」の文字は第一中学校の校章をイメージした。 「交」の「メ」の部分正面から見ると「子」になって、長宝寺小学校の「ち」をモチーフにした。 すべての学校の校章のデザインを入れたことで、良いところが集まってほしいと思ったので、そのようにした。
31		学校が、合体したみたいにしてみたかったからです。	43		桜の花の中のマークは、子ども達のかやく未来を表していて、その中にある縦線は、すくすく成長する子ども達、横線は子ども達の横のつながりを表しています。
32		未来という字を重ねると「ミ」の部分だけが残るので、その部分と交野の交を合わせた新しい「デザイン中心の文字」という字を、真ん中に交野の花である桜でかこってみました。「デザイン中心の文字」という字には人と人との交わりの意味を込めています。	44		交野の「交」の字を大きく黒で書いてある中心に星を書いた。この星は交野の七夕伝説にちなんでかいた。下の四本の帯のようなものは、「みらい」とかけている。「『みらい』に希望を抱いた子どもたちが、上を向いて生きる。」をイメージした。
33		市花の桜をメインに魅力と誇りあるように学校、地域、家庭とのつながりを大切に思いやりのある画を考えました。	45		このデザインの中心にある桜は、交野市の市の花である桜の花を使用して、桜の中に描かれている星のマークには、交野市は「星のまち」といわれていることと、この星のように交野みらい学園に通う生徒が、それぞれの個性を光り輝かせてほしいという願いを込めました。 また、桜の下に描かれている植物には、みらい学園に通う生徒が植物のように、生き生きと伸び伸びと成長して欲しいという願いを込めました。星の中心には、交野小学校の校章にも描かれていた桜花の中心を、桜を囲っている大きな円は長宝寺小学校の校章に描かれている円を円の両脇に描かれているリボンのようなものは、第一中学校の校章の一部を使用し、3つの学校のそれぞれの校章の一部を使用することで3つの学校がみらい学園として統合される一体感を表しました。 また、桜の花弁の上部を交野市の「交」の字の上部、その両端の花弁が『交』の横線の部分、花弁の下部が『交』の3画目と4画目を表し、植物が『交』の5画目とも6画目を表していて、全体で『交』の字になるようになっています。
34		・未来に向かって自由自在に飛んでいく感じとリボンにしました。（未を） ・交野は、キレイだし、交小に桜があったので、そうしました。	46		交野みらい学園のK（Katano）とM（Mirai）を平和の象徴である鳩の翼に刻み、中央に学びを象徴するペン先も表しています。
35		交野市の和（輪）の中に「みらい」があるという意味。	47		交野みらい学園の「み」をデザインに入れました。
36		未と来と交野の交を合わせたものです。			

48		・丸は水滴をイメージした。 ・正面からみれば交野、横から見れば交野の風景になる。 ・桜も有名なので桜をかいいた。	60		七夕伝説のシンボルである星をメインモチーフにし、「未来への光」を表した3つの「知」「徳」「体」の光で新しい学園が星のごとく光り輝くよう願いを込めました。
49		日本のはたのマークがあるのは、学校の名前がみらいとあったから日本のマークにしました。	61		七夕伝説の星で交野市のイニシャル「K」をあしらひ、躍動する新しい学園を表し、交野市にあふれる桜の木をイメージしてピンク色のリボンでグローバルな学園を表現して未来にひろがる学園を表しました。
50		左右から降ってきた星が校門で出会う様子をイメージしました。校門は星のブランコをモチーフにし、「みらい」のMを表しています。真ん中の「小」「中」を入れることで、それぞれの校章として使用できるようにデザインしました。	62		日本のシンボルである、桜をモチーフにし、真ん中には、これから輝くであろう学生の未来図を入れ、仲間たちと輪を結びながら学んでいく見取り図を描き、この名にしました。
51		交野市の交の字を図案化し、未来へと進む2本の道に見立てました。また、希望の象徴「虹」を描きました。周囲には10枚の花弁を描きました。交野みらい学園で出会った仲間が、それぞれの道を希望に向かって歩み、いつの日か大輪の花を咲かせられるようにという想いを込めました。	63		交野と言えばさくらなので、外側にさくらをかきました。その内側に人（人間関係）を表しています。中心の交は交流の交と交野の交の意味を合わせてかきました。
52		希望の象徴「虹」と、虹に向かってはばたく鳥を描き、周囲には8人の児童生徒が手を広げ、花の形になるように図案化しました。交野みらい学園で出会った仲間が、希望に向かって行進していき、いつの日か大輪の花を咲かせられるようにという思いを込めました。	64		学校名をデザインに入れました。本は、勉強をしっかりしてほしいと思い書きました。
53		さくらははなびらは人にもみえる、中学生（左）と小学生（右）が手をつないで（星）、未来に向かって（はねをひろげて）飛びたうとしている。	65		学校名をデザインに入れました。外側の外灯は暗いところも、照らすという意味があります。
54		交野みらい学園（小中一貫校）の校名から、交野の「交」と自然豊かな学校周辺に咲き誇る「桜の花」・「星のまち地名や伝説」の「輝く星」、学園の「学」を表し、統合した小中学校の歴史や伝統・勉学・スポーツ・文化のあらゆる情報交流の絆と魅力発信をイメージし、温かい愛情に包まれ、児童生徒の将来への大きな「夢や希望」を目標に更なる飛翔・発展・向上する明るい元気な活気にあふれる「交野みらい学園」の輝かしい姿と未来像を力強くアピールしています。	66		希望の象徴「虹」と、交野市の交の字をくわえ、虹に向かってはばたく2羽の鳥を描き、周囲には8人の児童生徒が手を広げ、花の形になるように図案化しました。交野みらい学園で出会った仲間が、希望に向かって前進して行き、いつの日か大輪の花を咲かせられるようにという思いを込めました。
55		交野みらい学園（小中一貫校）の校名から、交野の「交」と自然豊かな学校周辺に咲き誇る「桜の花」・「星のまち地名や伝説」の「輝く星」、学園の「学」を表し、統合した小中学校の歴史や伝統・勉学・スポーツ・文化のあらゆる情報交流の絆と魅力発信をイメージし、温かい愛情に包まれ、児童生徒の将来への大きな「夢や希望」を目標に更なる飛翔・発展・向上する明るい元気な活気にあふれる「交野みらい学園」の輝かしい姿と未来像を力強くアピールしています。	67		交野市の花、ツツジと交野市の交の字を重ね合わせ、その両脇に未来へと進む2本の道を描きました。周囲に6人の子供たちが手を広げ、手をつなぎ合っている様子を図案化しました。交野みらい学園で出会った仲間が、それぞれの道を希望に向かって歩み、いつの日か大輪の花を咲かせられるようにという思いを込めました。 ※「4色使用」のため、採用する場合は、修正が必要。
56		交野みらい学園（小中一貫校）の校名から、交野の「交」と自然豊かな学校周辺に咲き誇る「桜の花」・「星のまち地名や伝説」の「輝く星」、学園の「学」を表し、統合した小中学校の歴史や伝統・勉学・スポーツ・文化のあらゆる情報交流の絆と魅力発信をイメージし、温かい愛情に包まれ、児童生徒の将来への大きな「夢や希望」を目標に更なる飛翔・発展・向上する明るい元気な活気にあふれる「交野みらい学園」の輝かしい姿と未来像を力強くアピールしています。	68		希望の象徴「虹」と、交野市の花ツツジを交野の交の字と重ね合わせて描きました。また、周囲には6人の児童生徒が手を広げ、手をつなぎ合っているように図案化しました。交野みらい学園で出会った仲間が、手を携え、協力し合いながら成長し、いつの日か大輪の花を咲かせられるようにという思いを込めました。
57		交とミライのMを組み合わせて、羽ばたいていくようなイメージにデザインした。	69		交野市の「交」という字をアレンジし、盾形の紋章様デザインにしました。小・中学校の三校がひとつになった歴史を感じ、かつ「はしのまち交野」のイメージに合うよう三つの星をバランス良く配置しています。星の形状は、学校名にもある「みらい」という言葉をヒントに、シャープで近未来的な十字型を採用しました。和の伝統色を参考に、革新的で爽やかな水色を起用。若者が羽ばたいていく大空をイメージし「みらいブルー」と名付けました。6歳から15歳まで身につけることを考慮し、拡大・縮小してもイメージを損なわず、飽きの来ないシンプルデザインにまとめました。
58		七夕伝説の星をモチーフに交野のイニシャル「K」を表し、交野市の木「桜」の色のピンクと未来へ躍動して行く星（学園）のKの紺色で表現した。	70		学校の名前が「みらい」という名前になったとき、なぜこの名前になったかが、「みらいにはばたいてほしい」という理由だったので鳥がはばたいているようすをかきました。
59		交野市の木、「桜」と七夕伝説の星をメインモチーフにして、KATANOの頭文字「K」を星型に融合して、未来へ躍動する星（みらい学園）を表現しました。	71		交野の天の川をイメージして書いた。

72		全体像として、交野を担うような人物に贈られる勲章のようなイメージとした。桜の中央は交野の「交」という文字を配置し、その中身をみらい学園の「みらい」と置き換えることで、ひと目で学校の名前が分かるキャッチャーなロゴにした。 また、みらいの部分は桜の中心部分にあたるため、本物同様、あえて黄色にした。最後にグローバルも見据えた先進的な学校になると考えられるので、外側に英語表記で学校名を添えた。
73		小学校の2校を大地に、中学を木で表し、大地にしっかり根をおろし、みらいに向けて伸びていく姿を表現しました。 また、中心に交野の桜を置きました。
74		未来の末を3校なので3つを組み合わせ、中心を交野の頭文字を桜色で表現しました。
75		交野の「交」と「小」「中」校名にも入っている「未来」（交野みらい学園）を合わせた文字に丸を付けたもの。 □の中に桜を入れている。
76		交野市の「K」の文字をベースに星のごとく輝く未来に力強く羽ばたく翼で交野みらい学園を象徴的に表現しました。 暖色系の色は元気、活気、勇気で新たな歴史を創る同校をイメージしました。現代的で、シンプルで、親しみやすく、多くのの人々に長く愛されるデザインです。 また、縮小、単色、白黒にも耐えられ、いろいろと多用途な使い方ができます。
77		交野市の「K」の文字と七つの「星」をベースに希望の輪を割り、輝く未来に花咲く交野みらい学園を象徴的に表現しました。 緑は、大地と青葉、黄は星と光で豊かな自然と文化に恵まれ学習環境に優れた交野市を明快にイメージしました。 現代的で、シンプルで、親しみやすく、多くのの人々に長く愛されるデザインです。
78		交野市の「交」の文字をベースにだんじりの山車、翼、星、稲穂で輝く未来にのみり、勇壮に羽ばたく交野みらい学園を象徴的に表現しました。 水色は天野川と大空、黄は星と光、赤は太陽で豊かな自然に恵まれ三ツ星の教育を目指すことを明快にイメージしました。 現代的で、シンプルで、親しみやすく、多くのの人々に長く愛されるデザインです。
79		交野市の「か」の文字は、希望の若葉を抱き、未来へ躍動する児童・生徒の姿で交野みらい学園を象徴的に表現しました。 文字には「星」を盛り込み、緑は大地と若葉、赤は太陽、水色は天野川と大空で豊かな自然に恵まれ学習環境に優れた交野市を明快にイメージしました。 現代的で、シンプルで、親しみやすく、多くのの人々に長く愛されるデザインです。
80		図案化した校名の交野の「か」と、みらいの「み」の文字を組み合わせたもので、伸びやかに、未来に向かって成長していく生徒の姿をイメージして作成しました。
81		校名の交野の頭の「交」を小・中一貫校を表現した図案化した文字をメインに2つの大きさの異なる円で小中の生徒の姿をイメージして組み合わせた校章。
82		校名の「みらい」の頭文字「M」を中心に、未来に向かって大きく羽ばたく姿をイメージし、小学・中学を表す2つの輪を組み合わせて校章に仕上げました。
83		地球 虹 鳥 全体図 小中一つ つながる 旅立つ みらい学園らしさ
84		市の花である桜をベースにしました。 また、緑多き土地柄であることを忘れないでほしいという願いから、緑を使用。 どっしりと落ち着いた印象になるよう、文字の配置を工夫しました。
85		・「少し丸みを帯びた星型九角形」は、義務教育『9』年間で子どもたちが学ぶ・子どもたちを育むという理念を表しています。 子どもたちの『輝く未来』の象徴でもあります。 七夕伝説発祥の地としての『星』と市の木『桜』（古くから桜の名所）を模しています。 ・「学という字」は、子どもたちは『学ぶ』権利を有していること・『学ぶ』主体は子どもたちであることの根源を表しています。旧字の学という字は、爻（木が『交』わっている様子）・臼（両手で抱える様子）・冫（建物）・子 から成り立っています。（※1）学校が、『学ぶ場』『交わる場』として存在することを意味しています。 爻の部分に旧来の校章（第一中学校の校章の一部）を当てています。交野の歴史（あるいは第一中学校（交野小学校・長宝寺小学校）に通った人々の歴史）を尊重しています。 『交』野の『子』と読むことができます。 ※1 旧字の読み …爻（こう）・臼（きょく）・冫（べき）・子（こ）
86		交野市の花ツツジを中央に配置し、そこに向かう曲線上の帯を描きました。夢に向かって進むイメージを表現しました。 また、周囲には6人の児童生徒が手を広げ、手をつなぎ花の形になるように図案化しました。 交野みらい学園で出会った仲間が、手を携え、協力し合いながら成長し、いつの日か大輪の花を咲かせられるようにという思いを込めました。
87		交は交野市、ベンは学問、三重円は9学年 楕円にするとわかりやすくなります 配色は、白、紺、茜などおまかせします。
88		・正方形は、ひとつに統合した新しい学舎（まなびや）を表しています。 ・その中に、漢字の「小」と「中」の文字が集い、ひとつにつながり、みらい学園の「み」を形作っています。 ・「み」の形は、双葉をイメージするものにし、学舎（□）から飛び出させることで、明日に向かって大きく伸びゆく姿を表現しました。
89		かたのしょうがつこうのマークとじぶんてそうぞうした未来がっこうのマークをあわせました。
90		交野の象徴の桜をモチーフにし中央にシンボルマークにもなっている星を配置しました。 交野で一番の学校になるように「交」の文字を丸みのあるゴシック体で入れ、市民憲章である和「輪」でつつみました。 桜の図や文字にはあえて丸みをもたせて、中央の星のみ大きく輝く思いを込めて、エッジをきかせたデザインにしました。
91		新しいから「新」で、小中一貫だからみんな新しい学校で、小学生と中学生が仲良く生活できるようにデザインしました。
92		交野市の花ツツジをKATANOのKとMIRAIのMでつくり輝しべを9つで表すことで小中一貫校の学年を表現。 直線と並べていないので楽しさを出した。
93		天の川が有名ということで英語で意味するギャラクシー（銀河系）とKATANOのKを合わせ、9つの小惑星を表現。 少しずつ大きく変化している様は小1～中3までの成長を示した。
94		交野は空気がキレイで星がよく見えるので、星とKATANOのKを合わせ周りを三角ではなく「7」右上に向けた矢印で囲んだ。 枠にとらわれず向上していくという気持ちを考えた。

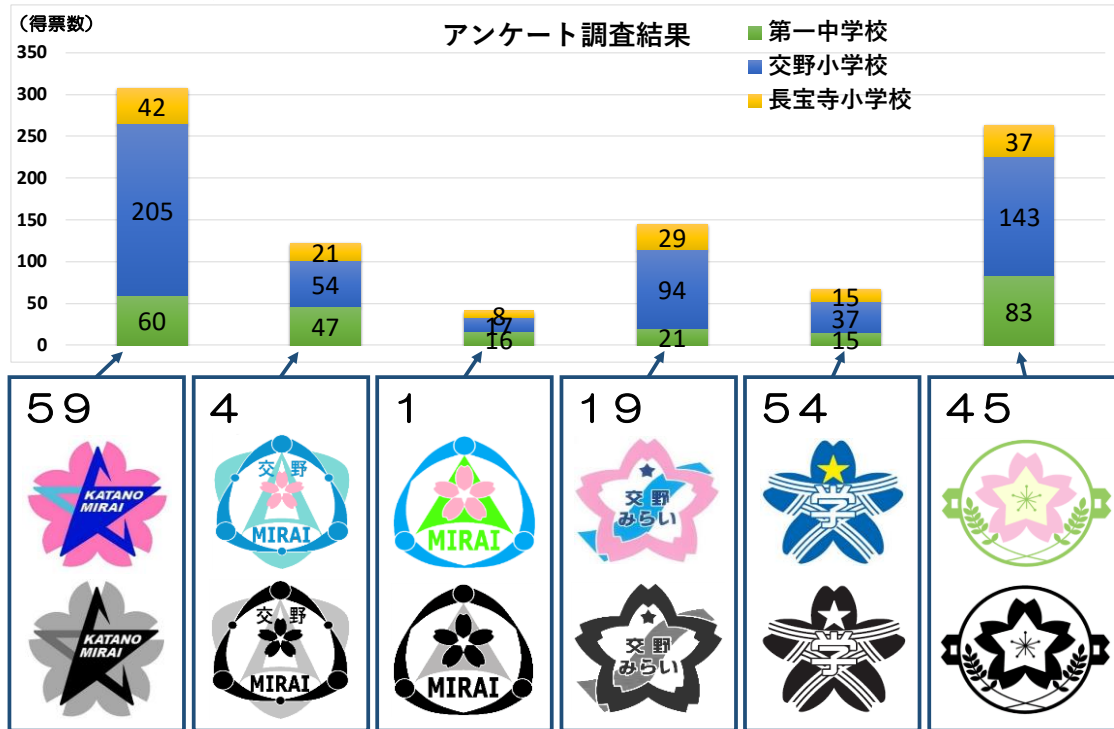
95		交野みらい学園の名称から「みらい」の「M」を市の花である桜の花びらに見立ててデザインしています。 花の中央には、交野の「交」、みらいの「み」をデザインしました。 配色は、山や自然の緑、天の川の水の青、桜のピンクを使用しています。
96		交野みらい学園の名称から「みらい」の「M」を市の花である桜の花びらに見立ててデザインしています。 花の中央には、交野の「交」、花びらの重なりにより、中央に星をデザインし、子供たち一人ひとりが学園での学びを通じて、みらいの「星」になることを願っています。
97		交野みらい学園の名称から「みらい」の「M」を市の花である桜の花びらに見立ててデザインしています。 更に花びらを線で重ねており、子供たちが学園を通じて人々や、学びと交流することにより、成長することや、更に重なり合った中央は「星」になっており、子供たち一人ひとりがみらいの「星」になることをデザインしています。
98		「交」の字で天の川の星を描き、児童・生徒、地域のみなさんの未来への願いを星の形に、3校が協調する様子を「みらい」の文字に込めました。
99		交野の「交」の字の中に「みらい」を描いた。 みらいの横にある羽のマークは毎秋、交野市の上空を渡る鷹の羽を描いたものだが未来に向かって子どもたちが羽ばたく学校になってほしいという願いを込めた校章とした。
100		未来が良くなりますように。

別表 2. 校章デザイン案のアンケート調査結果

校章デザイン案のアンケート調査結果

対象：第一中学校・交野小学校・長宝寺小学校の児童生徒

調査内容：児童生徒が一人ひとつ最も良いと思うものを選択



校章デザイン案のアンケート 良いと思った理由

59 ・交野市のことをこれでもかといれてるのにシンプルでいいと思う ・印象的だから。覚えやすいと思う ・近未来的な感じがしつつ、交野の感じが出ていて良いと思う ・パッと見た時印象に残った。交野市の伝統や文化がモチーフでよい ・インパクトがあって分かりやすい ・桜と星が合わさっていて交野市らしいと思う ・桜も星もきれいで、グレースケール版でもかっこいい ・星の中に「K」があるのがすごい	19 ・交野市の桜と天の川が良いと思う ・生徒たちに夢を感じさせるデザインでいいと思う ・校名が漢字と平仮名で読みやすい ・かわいいけどカッコイイ ・星と桜がロマンだな、と思う ・桜も文字も大きく書かれているのが良いと思う ・交野みらいと書いてあるので割れたりしたときにその学校の子と分かりやすい ・色使いがきれい
4 ・3校で頑張っていこうという想いが詰まっているから ・全体的に配色がきれい。一つ一つの模様の意味があって考えられている ・桜があって色が好み ・交野と分かりやすいから ・3校の児童生徒が手を繋ぎ合っている様子と未来へと歩む道という表現がとてもよい ・デザインに込められた想いが良い。デザインもとても良い ・みんなで仲良く手を繋いでいるように思える ・未来へ歩む道を桜と重ね合わせたところ	54 ・シンプルで交野みらい学園の特徴をすべて捉えていると思う ・桜の中の「交」という漢字のデザインが良い ・青と黄色の色使いがきれいと思う ・帽子などに付けるならこれが良いと思う ・カッコイイ ・使いやすいと思う ・デザインに込められた想いがとても良いと思う ・きれいだから
1 ・真ん中の道のようなものが未来への希望を表していると思う ・MIRAIの文字の色が山の多い交野に似合っている ・色が山、川、桜と「自然あふれる」感がある ・桜を中心に3校の児童生徒が手を繋ぎ合っているデザインが素敵 ・デザインに込められた願いも素敵だと思う ・デザインがかっこいい ・桜と未来へと歩む道を重ね合わせ図案化しているのがいいと思う ・きれいな色でさわやかだと思う	45 ・交小・長小・一中の校章が受け継がれているため ・デザインにたくさんの理由があり良い ・カラーでもグレースケールでもおもしろい ・色が薄くて優しい感じが出ていてきれい ・説明が長く、デザインへの愛情を感じるため ・桜と草がとてもキレイで交野市に似合いそう ・文字がなく、シンプルで良い ・真ん中の桜がかわいい